

舗装の個別施設計画

令和2年12月

石川県 川北町

目 次

1. 舗装の現状と課題

1－1 管理道路の現状

1－2 舗装修繕予算の現状

1－3 舗装の現状

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2－1 舗装管理の基本方針

2－2 管理道路の分類（グループ分け）

2－3 管理基準

2－4 点検方法・点検頻度

3. 計画期間

3－1 計画期間

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5－1 診断結果

5－2 対策内容と実施時期

1. 舗装の現状と課題

1-1 管理道路の現状

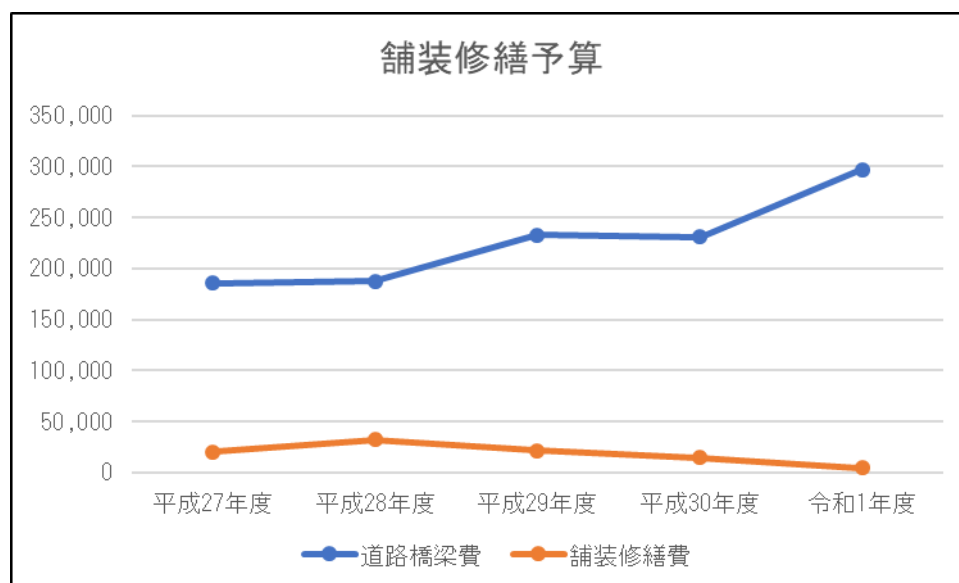
ア) 管理延長と舗装延長

道路区分	管理延長	舗装延長		舗装率(%)
		As 舗装	Co 舗装	
1 級町道	4. 4 km	4. 4 km	0. 0km	100. 0
2 級町道	4. 3 km	4. 3 km	0. 0km	100. 0
その他の町道	36. 3 km	36. 3 km	0. 0km	100. 0
合 計	45. 0 km	45. 0 km	0. 0km	100. 0

※As 舗装に簡易舗装を含む

1-2 舗装修繕予算の現状

道路予算のうち舗装修繕予算は、平成27年度から社会資本総合交付金事業の導入により一時増加しましたが、平成30年度以降舗装修繕は交付金要件の対象外となり、令和元年度以降は計画的に修繕ができていない。



1-3 舗装の現状

川北町が管理する町道を対象として平成25年度に全路線の総延長の路面性状調査を実施し、舗装劣化の状況を把握したところ、ひび割れ率は、平均で18.5%、わだち掘れ量は、平均で6.7mm、平坦性は、平均で4.5mm/mであり、舗装の状態を総合的に表す指標であるMCI（維持管理指数）は、平均で4.98となっている。管理道路の全体の傾向としては、破損が多数存在し部分的な修繕が必要な状況にある。

今後修繕ストックの増大が予測されることから、職員によるパトロール等での巡視を行いながら、必要に応じた修繕を行っていきます。

2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

2-1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、診断結果を踏まえた適切な措置を行うことで、道路舗装の長寿命化や舗装の維持修繕のライフサイクルコスト縮減を目指します。

2-2 管理道路の分類（グループ分け）

- ・大型車交通量、路線の重要性等を踏まえ分類

分類	対象道路
分類Cの道路	緊急輸送道路、1級、2級町道、幹線道路
分類Dの道路	上記以外の道路

2-3 管理基準

ひび割れ率	MCI
40%以上	4.0以下

2-4 点検方法・点検頻度

	点検方法	点検頻度
分類Cの道路	路面性状測定車又は目視点検	10年に1度
分類Dの道路	職員による巡視の機会を通じた路面状況把握	

3. 計画期間

3-1 計画期間

- ・当該個別施設計画の計画期間は、5年とする。

4. 対策の優先順位（補修計画の方針）

- ・舗装損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し補修の優先順位を決定します。
- ・区分Ⅲの路線については、平成29年度に対策が完了している。
- ・分類Cの路線を優先的に対策します。
- ・対策区間は、前後の損傷状況も勘案し対策を行うものとする。
- ・分類Dの路線については、交通量も少ないことから部分的な対策とする。ただし、損傷状況が著しい箇所については、優先的に対策を行うものとする。

5. 舗装の状態、対策内容、実施時期

5-1 診断結果

- ・平成25年度の路面性状調査を基に、各路線の平均値による診断結果は以下のとおり。

	区分Ⅰ	区分Ⅱ	区分Ⅲ	区分Ⅲ	
				Ⅲ-1	Ⅲ-2
分類Cの道路	18.1 km	2.0 km	0.0 km	0.0 km	0.0 km
分類Dの道路	14.9 km	9.4 km	0.5 km	0.5 km	0.0 km

区分Ⅰ：健全（損傷レベル小：ひび割れ率20%未満程度、または $4 < MC I$ ）

区分Ⅱ：表層機能保持段階（損傷レベル中：ひび割れ率20%以上程度、または $MC I \leq 4$ ）

区分Ⅲ-1：修繕段階（損傷レベル大：ひび割れ率40%以上程度、または $MC I \leq 3$ ）

区分Ⅲ-2：修繕段階（損傷レベル大：ひび割れ率40%以上程度、または $MC I \leq 2$ ）

5-2 対策内容と実施時期

調査結果に基づいて舗装の修繕が効率的に実施されるようにその損傷に最も適した対策方法・時期を決定します。

アスファルト舗装の診断区分と対策方法

区分Ⅰ：健全	対策の必要なし
区分Ⅱ：表層機能保持段階	ひび割れ：シール材注入工法、フォグシール・チップシール等の表面処理工法、パッチング、わだち部オーバーレイ工法（レーンパッチング）、薄層オーバーレイ工法等 わだち掘れ：切削工法、パッチング、わだち部オーバーレイ工法（レーンパッチング）等
Ⅲ-1：表層等修繕	切削オーバーレイ（表層等）等
Ⅲ-2：路盤改良等	路盤を含めた舗装打換え工法、路盤の強化（セメント改良等）、コンクリート舗装やコンポジット舗装への変更等

対策実施計画

No.	路線名	道路分類	平均診断区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				面積(m ²)	事業費(百万円)	面積(m ²)	事業費(百万円)	面積(m ²)	事業費(百万円)	面積(m ²)	事業費(百万円)	面積(m ²)	事業費(百万円)
63	中島・橋新線	C	I	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
64	中島・森島線	C	II	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1,520	8.8	1,500	8.7
67	ふるさと線	C	II	2,500	14.5	1,500	8.7	1,500	8.7		0.0	0	0.0
計				2,500	14.5	1,500	8.7	1,500	8.7	1,520	8.8	1,500	8.7

No.	路線名	道路分類	平均診断区分	令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度		合計	
				面積(m ²)	事業費(百万円)	面積(m ²)	事業費(百万円)	面積(m ²)	事業費(百万円)	面積(m ²)	事業費(百万円)	面積(m ²)	事業費(百万円)	面積(m ²)	事業費(百万円)
63	中島・橋新線	C	I	1,314	7.6	1,500	8.7	1,500	8.7	1,500	8.7	0	0.0	5,814	33.7
64	中島・森島線	C	II	500	2.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3,520	20.4
67	ふるさと線	C	II	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5,500	31.9
計				1,814	10.5	1,500	8.7	1,500	8.7	1,500	8.7	0	0.0	14,834	86.0

※ 個別施設計画により、道路分類【C】の路線を優先的に修繕する。

ただし、舗装の損傷が著しい箇所については、優先順位に限らず修繕する場合もある。